

2026 年度第 2 学期ゼミナール

「暮らしを支える看護 - 『看護覚え書』を読む」

 教 員 : 北嶋 結 先生

放送大学青森学習センター・客員教員
弘前大学大学院保健学研究科・助教

ゼミ概要

本ゼミでは、フローレンス・ナイチンゲールの『看護覚え書』を読みながら、地域で暮らし続ける人々の生活と健康について考えます。

『看護覚え書』には、換気、住環境、食事、休息、観察など、人が健康に暮らすための条件についての考察が示されています。各回ではテキストを読み進めながら、ナイチンゲールの看護観を理解するとともに、それらの視点を現代の地域・在宅看護や日々の暮らしに引き寄せて検討します。

参加者それぞれの経験や立場から意見を交わしながら、「暮らしを支える看護」とは何かをともに考えます。『看護覚え書』を通して、人びとの生活を支えることの意味や、健康と環境との関係について理解を深めることを目的とします。

教科書

『看護覚え書』（第 8 版）—看護であること看護でないこと—
フロレンス・ナイチンゲール著
湯槇 ます、薄井 坦子、小玉 香津子、田村 眞、小南 吉彦 翻訳

場 所

青森学習センター 多目的室 1

 日 時 : 指定された木曜日 16:00~17:00

10 / 08・22 01 / 14・28

11 / 05・19 02 / 18

12 / 10・24 03 / 11

01. なぜ今、『看護覚え書』を読むのか
02. 看護とは何か
03. 環境を整えるということ
04. 住まいと健康を考える
05. 生活を支える看護
06. 心と暮らしの環境
07. 支援とおせっかいのあいだ
08. 観察ということ
09. 本人の生活を中心に考える
10. 『看護覚え書』を読み終えて